

2025 年度

事業報告書

自 2025 年 1 月 1 日

至 2025 年 1 2 月 31 日

公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

目次

財団の概要（基本理念と事業）	3
2025年事業運営の方針	6
公益目的事業1：ハウス運営事業	8
公益目的事業2：ボランティア普及啓発事業	12
公益目的事業3：シェア・ハート・フォー・シック・キッズ事業	14

*本資料における当財団名の略称表記：

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン：DMHC

財団の概要（基本理念と事業）

財団の目的

困難な病気を患っている児童及びその家族を支援するため、必要とされている医療施設の近くに安価で滞在できる施設を設置・運営することによって小児医療や家庭の福祉に貢献し、医療分野や福祉活動等におけるボランティア活動を推進する為の助成活動・啓発活動を行なうことにより、わが国の医療・福祉への支援体制の確立に寄与すること。

財団のミッション

『入院している子どもたちとご家族がよりよい生活をおくれるようにサポートする』

財団ミッションにより下記に寄与する。

- ハウスの建設・運営による患児と家族の支援
- ボランティア文化の醸成
- 医療を社会で支える仕組み作り

ファミリー・センタード・ケアを支える DMHC

子どもを取りまく医療において、患者とその家族の支えとなり多様なニーズを満たしていくために重要視されているのが、ファミリー・センタード・ケア。これは、家族も子どものケアに関わるチームの重要な一員であり、子どものケアや治療方針などの意思決定に参加することを大切にする「家族を中心としたケア」という考え方である。このファミリー・センタード・ケアを実行・推進するためには、社会全体で家族・医療を支える必要があり、その支援の輪においてドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンは非常に大きな役割を担っている。

私たちは、子どもたちに直接医療を提供することがミッションではないが、子どもを看病するご家族に滞り場所ときめ細やかなサポートを提供することを通じて、ファミリー・センタード・ケアをはじめとする効果的な医療の実現に貢献し、病気の子どもとご家族により多くの笑顔をお届けする。

財団の事業とその概要

1. ハウス運営事業

病気の子どもたちとその付き添い家族のための滞在施設および休息施設の設置、管理・運営等に関する事業

<背景と概要>

難病の子どもたちとその家族は、高度医療を受けるためには特定の小児科病院に入院せざるを得ず、日常生活圏から離れた場所での宿泊費その他の不可避な支出を強いられる。長期に

わたる継続的な入院や治療は、所得を圧迫することになり、ましてや低所得の家庭においては、生活困難に直接結びつくことになる。また、乳幼児期の子どもにとって、両親から離れての入院治療を行うことは、その精神の健全な発育の妨げとなり得るものと考えられる。

ハウス運営事業は、難病の子どもたちとその家族の経済的・精神的な負担をやわらげ、日常生活圏から離れても家族が頻りに触れ合うことのできる生活環境を提供することにより、安心して高度医療を受ける機会を与え、児童又は青少年の健全な成長と育成に寄与している事業である。

<主な事業内容>

① ドナルド・マクドナルド・ハウスの開設と運営

- ・ 主に高度医療を提供する小児病院や（参考指標：小児病床 100 床以上、ICU 等 20 床以上）、小児がん拠点病院等に隣接して、入院・通院している子どもたちとその付き添い家族が滞在できる施設を建設・運営する。
- ・ 1 人 1 日 1,000 円の利用料金で経済的負担を軽減し、リラックスした環境の中、ボランティアや他の家族とコミュニケーションをとることで精神的にも安らげる場所を提供する。
- ・ 寄付金とボランティアにより運営する。

② ドナルド・マクドナルド・ファミリールームの開設と運営

- ・ 主に高度医療を提供する小児病院（参考指標：小児病床 100 床未満、ICU 等 20 床以上）の病棟内に設置して、入院中の子どもたちの付き添い家族が休息できる場所を開設・運営する。
- ・ 利用は無料で、院内環境とは異なり、ご家族がリラックスし、食事やおやつを食べたり、昼寝をしたり、院内のストレスから解放される場所を提供する。
- ・ 寄付金とボランティアにより運営する。

2. ボランティア普及啓発事業

病気の子どもたちとその付き添いご家族を支援するボランティアの普及・啓発活動および、ボランティア育成の事業

<背景と概要>

ハウスを必要とする子どもたちとご家族が、「第二のわが家」として安価にかつ安心して利用していただくためのハウス運営は、ボランティアの支援無くして成り立たない。そのためにはハウスの活動を広く周知し、ハウスの意義に共感し難病の子どもたちとご家族に心を寄せて支援いただけるボランティアを募集し育成していく必要がある。

ボランティア活動はあくまで個人の自発的な意思に基づく自主的な活動であるが、ボランティア個人の自己実現への欲求や社会参加意欲が充足されるだけでなく、その活動の広がりによって、社会貢献や福祉活動等への関心が高まり、地域で小児医療を支える体制づくりや、共に支え合う地域社会づくりの浸透に大きな意義を持つ事業と言える。

<主な事業内容>

① ハウスボランティアの募集および育成

- ・ 全国のハウスでボランティアを募集、ハウスを活動の場として育成する
- ・ ボランティアフォーラムの開催を通じてマインドを育てる
- ・ 企業ボランティアや学生ボランティアを募り、活動の場を広げる
- ・ ボランティアマインドの醸成と啓発：ボランティアの意義（自発的な意思に基づき他人や社会に貢献する行為）と4つの原則（「自主性・主体性」、「社会性・連帯性」、「無償性・無給性」、「創造性・開拓性・先駆性」）

② ボランティア活動の周知

- ・ 病気の子どもたちやそのご家族にとって、自分たちを支援してくれるボランティアの存在を知ることが、「ひとりではない」支えてくれる方々がいる、と感じてもらえることであり、周知していくことはとても大事なことである。
- ・ ボランティア活動を SNS 等で発信、および情報誌や年間報告書にて紹介する

3. シェア・ハート・フォー・シック・キッズ事業

入院・通院している子どもたちの QOL を向上させ、病気の子どもたちに笑顔を届けることを目的とした事業

<背景と概要>

入院治療を余儀なくされた子どもたちにとって、病棟での体験は非日常的なものであり、なじみのない医療施設や医療スタッフ、苦痛を伴う医療的処置、治療から生じる外見上の変化など、入院する前の日常生活と分断された感覚をもちやすくなる。このことは身体面のみならず、心理社会面において、多くの喪失やその予期を伴うために、怒り、不安、抑うつなどの感情をもたらす。入院治療中は、自分で何かを選択したり、決定することが許されにくい環境であるために、子どもたちのコントロール感が低下したり、無力感が生じることがある。また、集団での活動が制限されやすい病棟生活では、本来子ども同士が関わることで育まれる社会性の獲得が妨げられやすくなる。入院中の子どもたちに対して、喜びとなるギフトを届けることや学習・体験のプログラムを提供することは、子ども同士が関わることで得られやすい感情を体験したり、対人関係の中で自分の言動を調整する力や集団におけるルールを学習するなど、今後の社会生活に求められるスキルの獲得の機会として重要な役割を担う事業となる。

同様に、子どもの看病に付き添う家族に対しても、日常生活を顧みることができる支援をすることは、看病のストレスから解放されリフレッシュすることで子どもの治癒効果が高められると考えられる。

<主な事業内容>

- ・ ハートフルカートとして、入院している患児と付き添い家族を対象に、小さな文具や玩具、日用品などを配布
- ・ 入院している患児と付き添い家族に対する体験活動の提供（オンライン体験プログラム）
- ・ 患児が実際に体験できる活動の提供（参加型の体験プログラム）

2025 年事業運営の方針

目標（指標）

患児・家族への支援と影響力を最大化する

- ・ ハウス利用家族数：6,700 家族
- ・ ハウス稼働率：64%
- ・ ファミリールーム利用者数：1,200 家族
- ・ ファミリールーム利用率：75%
- ・ シェア・ハート・フォー・シック・キッズプログラムによる支援者数：15,000 名
- ・ 「ドナルド・マクドナルド・ハウス」認知率：指標 34%
- ・ 寄付・募金：指標 950,000 千円
- ・ ボランティア人数（ハウスボランティア＋企業ボランティア）：指標 2,400 名（12 月末登録者数）
- ・ ボランティア稼働時間数（ハウスボランティア＋企業ボランティア）：指標 170,000 時間

優先事項

1) プログラムの拡大とサービスの質を高める（より多くの家族に、より良いサービスを）

- ・ ハウス/ファミリールームの適切な稼働/利用のための課題改善を強化する
- ・ 利用家族の満足度が高い、ミールプログラムと癒しプログラムを促進する
- ・ 利用家族が安心・安全に生活できる施設の修繕、設備の保守点検とメンテナンスに計画的に投資する
- ・ 利用家族の利便性を高めるための DX 化を推進する（キャッシュレス化、利用者の入出管理等）
- ・ ハートフルカートの効果的な運用を促進する。そのための物品手配と配送システムに投資する
- ・ 効果的な体験プログラム（オンライン型/参加型）の展開・拡大を強化する
- ・ 新規ハウスの開設準備を推進する（しずおかハウス、京都ハウス）
- ・ ファミリールーム拡大のための開設ニーズのある病院へのコミュニケーションを開始する

2) 支援者を増やし持続的な財務基盤を構築する（エンゲージメントの促進）

- ・ 支援者拡大のための広報とファンドレイジング活動を強化する。
- ・ チャリティイベント（ラン＆ウォーク、各マラソンチャリティランナー、チャリティパーティ）による効果を高める
- ・ ハウス毎のチャリティイベントと、ファンドレイジング活動を強化する
- ・ 公益目的事業に従たる収益事業（イベント開催・物品販売）の実施検証を行う
- ・ 資産運用による効果を増加させる

3) 外部とのパートナーシップを強化する（連携（コラボレーション）の強化）

- ・ ファミリー・センタード・ケア（FCC）フォーラムを開催する（ふくおかハウスで開催予定）
- ・ ハウス毎の外部パートナーシップを戦略的・計画的に推進する（外部パートナーとは、ハウスのある地域で、小児医療関連の NPO や団体、小児医療の課題改善に取り組んでいる・取り組もうとしている企業、行政、学校法人、など）
- ・ ハウス間での活動・情報の共有を強化する
- ・ 他チャプターとの情報共有を強化する

4) 人材を確保・育成し、強固な組織体制を築く（人を優先する）

- ・ ボランティアのスキル・能力をさらにハウス運営に活かせるシステムを整備する
- ・ 事務局体制の強化のための人員配置と育成、およびハウススタッフの労務・労働環境を整える。
- ・ IT インフラ改善およびシステム導入・運用への投資を推進する
- ・ Global Chapter Excellence を活用し組織体制を強化する



公益目的事業 1：ハウス運営事業

病気の子どもたちとその付き添い家族のための滞在施設および休息場所の設置、管理・運営等に関する事業

<事業費>

2025年 487,810,000円 (前年 431,538,854円)

<事業状況>

1. ドナルド・マクドナルド・ハウスの運営

全国12のハウスの利用家族数は7,056家族と、2024年の6,494家族に対して109%と増加し、コロナ禍以前の2019年の7,312家族に対して95.5%まで近づいている。全ハウスの平均稼働率は64%で2024年の62%に対して上昇している。

① 全国12のハウスの管理・運営

2025年ハウス別 運営状況 (全国で12ハウス、169部屋を運営)

	部屋数	利用家族	利用人数	宿泊数	稼働率
全ハウス総計	169	7,056	15,149	39,627	64%
せたがやハウス	23	998	2,216	6,139	73%
せんだいハウス	16	931	2,148	2,364	40%
おおさか健都ハウス	20	483	1,029	3,231	44%
とちぎハウス	10	314	601	2,262	62%
さっぽろハウス	10	614	1,506	2,351	64%
ふちゅうハウス	12	550	1,204	3,707	85%
東大ハウス	12	447	1,047	3,360	77%
なごやハウス	12	496	956	3,051	70%
ふくおかハウス	21	753	1,688	3,871	51%
神戸ハウス	16	637	1,190	4,930	84%
さいたまハウス	7	455	834	2,608	102%
にいがたハウス	10	378	730	1,753	48%

利用者家族数・宿泊数・稼働率の推移（2001～2025年）



② 新規ハウスの開設準備

(ア) しずおかハウス：設計・建設に向けて準備中

(イ) 京都ハウス：2025年4月に開設資金の寄付目標8億円を達成（京都府の募金委員会にて4億円、弊財団にて4億円）。建設予定地の更地化も完了し、設計（基本設計・実施設計）に着手、12月に確認申請を提出し、2026年初夏の着工を目指す。

③ 既存ハウスの修繕投資

(ア) せたがやハウス大規模修繕工事（2025年～2026年にて実施）

2025年10月より外装工事（雨漏り修繕・防水加工）に着工、2026年2月に内装工事（全室リフレッシュ・居室増室）を着工予定

2025年9月よりハウスを休館し、休館中は代替施設にて利用者家族の受け入れ運用

(イ) 東大ハウス修繕工事（外壁・外装（木製デッキ）および設備の老朽化に伴う修繕）業者選定に時間を要し2026年に繰越し

(ウ) ふくおかハウス修繕工事（外部塗装面、建具廻りの経年劣化に伴う修繕）業者選定に時間を要し2026年に繰越し

2. ドナルド・マクドナルド・ファミリールームの運営

「ドナルド・マクドナルド・ファミリールーム 榊原記念病院」（以下榊原記念病院 FR、東京都府中市にある榊原記念病院内に 2023 年 12 月開設）の利用者数、利用回数ともに前年を大幅に上回っている。要因は、付き添い家族がファミリールームを利用している間の病院スタッフ（看護師、保育士）の患児サポートと、ボランティア手作りのランチ時間帯の食事提供による利用促進によるもの。

① ファミリールームの利用状況（2025 年）

		2025 年	2024 年
利用者数	計	1,712	1,346
	付添い	759	755
	面会	953	591
延べ利用回数	計	6,596	5,943
	付添い	5,292	5,249
	面会	1,304	694
延べ利用時間		3,051 時間 58 分	1,804 時間 59 分
利用時間（1 回平均）		23 分 17 秒	18 分 13 秒
付添家族 利用率(%) (利用者数/付添家族数)		79%	70%
ミール提供日数		246	95

② ファミリールーム拡大のための計画

- ハウス/ファミリールームに関心のある 12 の医療施設に、ドナルド・マクドナルド・ハウスの活動とハウス/ファミリールームの開設に関する情報を説明し、各医療施設のニーズとポテンシャルに関して意見交換を実施。
- 対象は、2024 年に小児医療施設を対象に行ったアンケート調査よりハウス/ファミリールームに関心のある 8 の医療施設と、別途、財団窓口にお問い合わせがあった 4 の医療施設

ハウス・ファミリールーム施設一覧

	ハウス名	開設年月	住所	連携病院
1	せたがやハウス	2001 年 12 月	東京都世田谷区大蔵 2-1 0-1 0	国立成育医療研究センター
2	せんだいハウス	2003 年 11 月	宮城県仙台市青葉区落合 4-5-3	宮城県立こども病院
3	おおさか健都ハウス	2005 年 10 月	大阪府摂津市千里丘新町 5-3 0	国立循環器病研究センター
4	とちぎハウス	2006 年 9 月	栃木県下野市祇園 2-3 6-3	自治医科大学とちぎ子ども医療センター

5	さっぽろハウス	2008年12月	北海道札幌市手稲区金山1条1-2-5	北海道立子ども総合医療・療育センター
6	ふちゅうハウス	2010年3月	東京都府中市武蔵台2-9-2	東京都立小児総合医療センター
7	東大ハウス	2012年1月	東京都文京区本郷7-3-1 東京大学構内	東京大学医学部附属病院
8	なごやハウス	2014年1月	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町6-5	名古屋大学医学部付属病院
9	ふくおかハウス	2015年5月	福岡県福岡市東区香椎照葉5-1-2	福岡市立こども病院
10	神戸ハウス	2016年5月	兵庫県神戸市中央区港島南町1-6-7	兵庫県立こども病院
11	さいたまハウス	2016年12月	埼玉県さいたま市中央区新都心1-2	埼玉県立小児医療センター
12	にいがたハウス	2022年10月	新潟県新潟市中央区旭町通一番町756-9	新潟大学医歯学総合病院
	ファミリールーム名	開設年月	住所	連携病院
1	榑原ファミリールーム	2023年12月	東京都府中市朝日町3-16-1	榑原記念病院

公益目的事業 2 : ボランティア普及啓発事業

病気の子もたちとその付き添いご家族を支援するボランティアの普及・啓発活動および、ボランティア育成の事業

<事業費>

2025 年 11,501,951 円 (前年 7,163,357 円)

<事業状況>

2025 年 12 月末のボランティア登録者数は 2,485 名、2025 年年間のハウスボランティアとして活動した人数は 2,907 人で、年間のボランティア時間数は 154,500 時間となっている。前年に対して、登録者数・活動者数は増加しているが、「せたがやハウス」の修繕工事による休館のため、ボランティアの活動時間数は減少している。

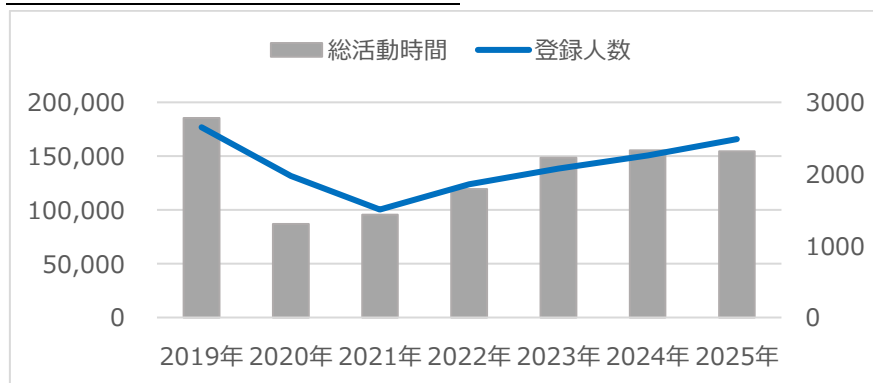
また、企業・団体によるグループボランティアの活動が活発化しており、参加団体数は 168、活動時間数は 10,788 時間と前年より大幅に増加している。

① ボランティアの募集および育成

ハウス別ボランティア活動状況

ハウス名	登録人数		活動時間数		新規登録	脱退
	2025 年末	2024 年末	2025 年	2024 年	2025 年	2025 年
総計	2,485	2,258	154,550	155,500	651	424
せたがやハウス	202	194	11,275	15,303	65	57
せんだいハウス	141	142	13,205	11,766	36	37
おおさか健都ハウス	250	214	15,072	14,744	51	15
とちぎハウス	140	141	9,774	9,659	20	21
さっぽろハウス	237	203	14,161	14,949	40	6
ふちゅうハウス	215	183	13,432	12,845	64	32
東大ハウス	261	226	14,546	14,349	37	2
なごやハウス	175	166	14,073	13,191	65	56
ふくおかハウス	193	162	12,242	11,708	56	25
神戸ハウス	162	153	9,535	9,480	39	30
さいたまハウス	265	230	13,636	13,566	60	25
にいがたハウス	161	193	11,292	11,973	47	79
榊原ファミリールーム	83	51	2,307	2,132	71	39

ボランティア時間数・ボランティア人数の推移



企業・団体のグループボランティア活動状況

	団体数	活動人数	活動時間数	具体的内容
2025年	168 団体	3,596 人	10,788 時間	清掃、ミールプログラム、マッサージ施術、 PC サポート、寄付品
2024年	148 団体	3,091 人	9,273 時間	

ボランティア募集・育成の活動

- (ア) 全国 12 のハウス毎に、その地域内でハウス周知とボランティア募集活動を展開
募集媒体は、各行政区の広報誌、近隣大学やボランティアサポートセンター、またはハウス毎に SNS での発信により、地域住民や学生に訴求
- (イ) ボランティア説明会・体験会を開催し、財団の目的とミッション、患児や家族に対するボランティア活動の意義や内容を啓発
- (ウ) ボランティア手帳を作成し、ボランティアに対して約 2,800 部を配布（利用者や医療従事者の声、ボランティア心得や活動における原則）
- (エ) ハウス毎に、永年継続ボランティアへの表彰と記念品を授与

② ボランティア活動の周知

- (ア) ハウス毎に SNS やニュースレターでボランティア活動や、各種イベント開催の報告等々を発信
- (イ) 財団ホームページや情報誌、年間報告書（4 月発行）にて情報発信(約 5,000 部)
- (ウ) 各企業や団体からのグループボランティア活動への参加問合せに対して、事務局でオンラインによるオリエンテーションを行った後に、各ハウスにて具体的なボランティア活動を展開

③ ボランティアセミナー／ファミリー・センタード・ケア（FCC）セミナーの開催

10 月にふくおかハウスにて「ファミリー・センタード・ケア フォーラム 2025」を開催。福岡アイランドシティアターを会場として「病気の子どもとその家族を地域で支えるために」をテーマに、福岡の小児医療と地域の現状を学び、ボランティアや支援の方法について考えるフォーラム。参加者数は、来場 76 名とオンライン参加 146 名の 計 222 名。ふくおかハウスのオープンハウスも同時開催。

公益目的事業3：シェア・ハート・フォー・シック・キッズ事業

入院・通院している子どもたちの QOL を向上させ、病気の子どもたちに笑顔を届けることを目的とした事業

<事業費>

2025年 3,608,399円 (前年 2,027,256円)

<事業状況>

- ・ ハートフルカートは、計 16 医療施設で展開、年間 13,510 人をサポート（2024 年、13,437 人サポート） 実施回数も前年とほぼ同等で 183 回（2024 年 184 回）ハートフルカートの実施エリア（病棟内、病室、外来）は病院によっては異なる。
- ・ 各ハウスと支援企業との連携によりオンライン体験プログラムを開発・制作し実施。（飛行機整備工場見学、菓子製造工場見学、乳製品工場見学、学習会のオリジナル教材作成・提供など）
- ・ 支援企業からリアルな体験イベントを提供いただき、寛解の子どもとその家族を招待。（プロサッカー観戦、ホテルでお泊り体験、成田空港見学など）

<シェアハート・フォー・シック・キッズ 年間活動およびサポート人数>

施設名	シェア・ハート・フォー・キッズ サポート人数	ハートフルカート		ハートフルカート以外の活動		
		サポート人数	実施回数	サポート人数	読み聞かせ/動画 配信	体験イベント
せたがやハウス	1,630	1,630	11	0		
せんだいハウス	175	175	8	0		
おおさか健都ハウス	370	345	4	25		25
とちぎハウス	503	482	6	21		21
さっぽろハウス	827	762	5	65		65
ふちゅうハウス	1,585	1,585	14	0		
東大ハウス	1,224	1222	12	2		2
なごやハウス	436	436	5	0		
ふくおかハウス	912	912	24	0		
神戸ハウス	1,556	1,556	19	0		
さいたまハウス	2,255	1,933	24	322	322	
にいがたハウス	776	776	12	0		
榊原FR	320	320	15	0		
事務局	40	0	0	40		40
京都府立医科大	283	283	11			
京都大学	168	168	9			
静岡県立こども病院	450	450	4			
合計	13,510	13,035	183	475	322	153